

TTC 山行実施記録表

2019年6月14日 報告者：M.K

山行名	阿弥陀岳・赤岳・横岳・硫黄岳 〔阿弥陀岳 2805m・赤岳 2899m・横岳 2829m・硫黄岳 2760m・長野県〕			
実施日	令和1年6月1日(土)・2日(日)	一泊二日	マイカー	
天候/参加人員	天候：6月1日(晴れ) 6月2日(曇り)	レベル：★★★☆☆	参加人員：9名	
パーティスタッフ	省略			
参加メンバー	省略			
費用一人当たり	車両代金：(@10x335km=¥3,350)x2=¥6,700、駐車場：(@1,000x2日)x2台=¥4,000 ドライバ謝礼：(@5000x2日+900(早朝加算))=¥10,900)x2=¥21,800 燃料代：(@140x335km/8Km=¥5,863)+(@140x335km/5=9,380)=¥15,243 高速道路代(圏央厚木IC~小淵沢IC)：¥2,840x2x2台=¥11,360(ETC) 行者小屋@10,000×6=¥60,000、テント@1,000x3=¥3,000 上記の支出計：¥122,103 集金額：(小屋・16,600x6=¥99,600)+(テント・7,600x3=¥22,800)=¥122,400 カンパ金・¥297			
歩行/行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイドブック： 無雪期	6/1・5:05 6/2・7:05	—	—
	計画	6/1・6:00 6/2・8:40	1:45 1:15	7:45 9:55
	実行	6/1・6:15 6/2・9:15	1:40 1:45	7:55 11:00
実行コースタイム記録				
6/1 本厚木駅===圏央厚木IC===境川 PA===小淵沢IC===やまのこ村 P----行者小屋----中岳----行者小屋 5:00 7:15-7:45 10:20-11:50 13:50-14:00 15:40				
6/2 行者小屋---赤岳---横岳(奥ノ院)---硫黄岳---赤岳鉱泉---やまのこ村=== 4:20 6:25-7:10 9:30-45 11:10-40 13:20-35 15:20-40 ===諏訪南 IC===境川 P===圏央厚木 IC===本厚木駅 19:50				
コースの概要、特記事項、反省事項等				
コースの概要 美濃戸～行者小屋：沢沿いの歩きやすい道。残雪は無かった。 行者小屋～中岳～行者小屋：文三郎尾根下部の樹林帯には残雪があったがアイゼンは不要 中岳のコルからの道は残雪が多く踏み抜き跡が多く見られた。 行者小屋～赤岳：文三郎尾根上部はザレの急登。その後は岩稜の急登。 クサリ等はあるが3点支持を守れば問題はない。高度感も感じない。 赤岳～横岳：赤岳よりの下りはザレていて歩きづらい。 横岳への取付きには残雪があったがステップが切られており、 またクサリと補助ロープがあるので問題なく登れた。 横岳～硫黄岳：奥ノ院先の岩稜を過ぎると、開けた稜線で解放感がある。 硫黄岳～赤岳鉱泉：樹林帯は残雪が多く歩きづらい。また、木の根も多く足の置き場に注意が必要。 赤岳鉱泉～美濃戸：沢沿いの道。南沢より歩きやすいが単調な道のため長く感じる。				
特記事項 ・事前の情報より残雪が少なく、全体を通して歩きやすかった。 ・南沢沿いの道ではホテイランが見頃でした。 ・両日ともに天候に恵まれ、特に2日目は雲海上に富士山をはじめ、 南、中央、北アルプス、秩父と360度の大展望でした。 ・稜線上ではツクモグサも見られ、花の時期を感じました。				
反省事項 ・行者小屋から中岳のコルに至るコース情報を事前に得る事が出来ず、 当日、行者小屋で情報を得た結果、雪が多いとの事で阿弥陀岳から行き先を中岳に変更した。 ・2日目の行程は休憩時間を多く取ったにせよ11時間は長かった。				
-以上-				